

【提案者名／所属】

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 宮下 礼
特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 稲場 雅紀

【議題案題目】

新スキームのための作業グループの設置の提案

【議題提案の背景】

4 月 13 日（火）の外務省・NGO 定期協議会臨時全体会議において、「ODA のあり方検討」について議論されたが、具体的な内容については、より議論を別途深める必要があり、昨年度の外務省 NGO 研究会「日本の国際協力と NGO/ODA 連盟の未来～政府と NGO のよりよい連携を求めて～」で研究されたように、NGO との多様な連携の実現を求めたい。その実現のためには、昨年度の連携推進委員会に置かれた「5 カ年計画推進チーム」のように、外務省と NGO の双方が参加する新スキームのための作業グループの設置が望まれる。

【議題論点】

昨年度の連携推進委員会に置かれた「5 カ年計画推進チーム」で作業したように、また、昨年度の外務省 NGO 研究会「日本の国際協力と NGO/ODA 連盟の未来～政府と NGO のよりよい連携を求めて～」で研究されたように、NGO との多様な連携の実現を求めたい。具体的には、既存の NGO 向け ODA スキームの増額とユーザーフレンドリー化のみではなく、

NGO 向け ODA スキームを超えた英国 DfID の「Programme Partnership Agreements」型のような包括的支援スキーム

- ODA/NGO 連携や MDGs、「人間の安全保障」に関わる分野等での政策形成・調査・評価等での NGO との連携スキーム
- 上記「政策形成での NGO との連携スキーム」等と関連して、NGO の能力強化等を目的に設けられている「NGO 活動環境整備支援事業」

などが議論されるスキーム案と想定されるが、実際には作業グループを設置して、具体的に何が可能か詳細を詰めつつ追求し、新スキームにおいて NGO・市民社会の参加を拡充することで ODA に対する国民の理解にも貢献していきたい。

出席希望する外務省側担当者（部局等）】

国際協力局 開発協力総括課
国際協力局 民間援助連携室
国際協力局 地球規模課題総括課